

PART2

多摩交流センター開設
20周年記念事業



1. 記念事業の概要

多摩交流センター開設 20 周年を記念し、20 年間の軌跡をたどるとともにその事業成果を広く多摩地域住民に還元するため、「記念誌の発行」、「体験型イベント（テーマ「武蔵野台地と水）」、「登録団体の活動紹介の場の提供」など記念事業を行った。

これらの事業を通じて、改めて多摩地域への親しみや愛情を感じ、その魅力や将来について見つめ直すきっかけとなることを目的とした。

2. 各事業の成果

① 20 周年記念誌発行

当センターのあゆみや活動状況をまとめ、当センター事業の柱である助成制度については市民活動団体・助成団体等の活動を紹介するとともに、各団体が活動が続けているポイントや活動に伴う課題を調査・分析し、今後の活動に役立つ情報を記載している。また、当センター施設の利用方法や手続き等に触れるなど、市民活動団体が活用しやすい構成になっている。平成 27 年 3 月に発行し各市町村や関係団体に配布した。



【発行状況】

サイズ：A4 版

ページ数：148 ページ

発行年月：平成 27 年 3 月

② 体験型イベント

多摩地域の住民が普段暮らしている足元である多摩の魅力を発見・体験・創造できる体験型イベント（テーマ「武蔵野台地と水」）を市民団体並びに事業に知識経験を有する団体等と共同し 3 事業を実施した。

多摩には昔、水の豊かな地域とそうでない地域があった。その姿を解説を交えて実際に歩いて体験し、地形、水系から見た特徴、人々の生活や産業との関連などを明らかにすることを目的とした。

【I. 多摩の歴史講座】（共催：（公財）たましん地域文化財団）

江戸時代から第二次世界大戦前まで、玉川上水とその分水は武蔵野台地に住む人々の飲料水、生活用水、田用水として暮らしを支えてきた。本講座では、水の乏しい武蔵野台地の特質や水系の状況を踏まえ、分水の敷設と利用、水車製粉や近代産業への活用、分水の現状とこれからの学ぶ講座とした。

■実施結果 《講座内容》

第1講 平成26年9月26日（金）「玉川上水の分水の利用—江戸時代から近代—」

講師 小坂克信氏（産業考古学会理事）

内容 玉川上水の分水の成り立ちや歴史について、築樋（つきどい）等の分水路の工夫にもふれた総論的な講義。

第2講 平成26年10月10日（金）「武蔵野台地の河川と水環境」

講師 角田清美氏（青梅市文化財保護指導員）

内容 武蔵野台地上の河川を「狭山丘陵」「台地上の任意の場所」「台地周辺の段丘崖」ごとに、それぞれの源流の特徴や武蔵野台地形成の歴史を、本講座のために作成した地形・地質の図面をもとにして解説した講義。

第3講 平成26年10月24日（金）「多摩の水車のしくみと歴史、千川・三田用水の利用」

講師 小坂克信氏（産業考古学会理事）

内容 三鷹市に現存する峯岸水車の貴重な動画を用いて「水輪（みずわ）、杵、搗き臼等」精密な水車のしくみについての講義。

第4講 平成26年11月7日（金）見学会「大沢の里水車経営農家（新車）と周辺の史跡を訪ねる」

講師 大沢の里水車経営農家市民解説員ほか

内容 三鷹市の「新車（しんぐるま）」と呼ばれ、東京の有形民俗文化財の指定や日本機械学会から機械遺産の認定を受けている峯岸家の水車についてボランティアガイド（市民解説員）による解説を受けながら、母屋、水輪や水車装置等の見学。

コース 都立野川公園—大沢の里水車経営農家（新車）—
出山横穴墓第8号墓保存公開施設—龍源寺—近藤
勇生家跡—都立野川公園（約3km）



三鷹市「新車（しんぐるま）」

第5講 平成26年11月21日（金）「分水の現状と今後—熊川分水—」

講師 吉江勝広氏（福生市文化財保護審議会委員）

内容 「熊川分水」敷設のエピソードや玉石積の水路、私有地に流れを持つなどの特徴を多数の写真を用いて解説した講義。

★参加者 127名 / 申込 137名

武蔵野水 足で知る多摩の魅力ガイドウォーク

【Ⅱ.「平成の名水百選」落合川・南沢湧水群を歩く】

環境省により、東京都内で唯一「平成の名水百選」に選ばれた落合川・南沢湧水群を歩くコース。東久留米市は古多摩川の作った扇状地の上にあるため、湧水が豊富な地域で、住宅地にこんなに、と驚くほど豊富な湧水がみられた。また本コースでは普段は立ち入ることのできない南沢浄水所内の湧水の見学も行った。コース上には多様な動植物が存在し、ガイドの的確な解説により、参加者はそれらをより身近に感じていた。

- 実施日 平成26年10月18日(土)
- 実施コース 東久留米駅 - 小山台遺跡公園 - 黒目川 - 巖島神社 - 東部地域センター - 落合川合流地点 - 竹林公園 - いこいの水辺 - 多聞寺 - 氷川神社 - 南沢湧水群 - 南沢浄水所(東京都水道局) - 落合川水生公園(約8km)
- ガイド 日本ウオーキング協会 上級指導員
手島正夫氏、古谷義夫氏、佐藤和子氏
- ★参加者 39名 / 申込 50名

START
東久留米駅

黒目川・落合川合流地点

巖島神社

竹林公園

GOAL
落合川水生公園

南沢浄水所
(東京都水道局)

〈意見・感想〉

- ガイドの方が草花についても詳しく教えて下さって感謝しています。お天気に恵まれ楽しいウォークでした。
- とても良い案内で本当に良かった。
- 初めてのウォーキング参加です。コースは時間も丁度よかったです。また参加したいと思います。スタッフのみなさんありがとうございました。
- 東京にこんな素晴らしいところが残っているなんて驚きます。大変楽しく、勉強になりました。ありがとうございました。
- 水辺のある風景は歩いていて気持ちが良い。今日はありがとうございました。
- 湧水のきれいなのにびっくり。大切にしたいです。
- 湧水の源を見せていただき大変感謝いたしました。
- 長時間ではありませんでしたが、飽きのこない自然に包まれたコースで大変楽しめました。特に浄水所の源泉は感激でした。
- 水量の豊富な川と湧水には驚かされた。
- 南沢浄水所を見学できたことがとても印象的でした。

【Ⅲ. 玉川上水の歴史を紐解く】

1654年、江戸の飲料水不足を解消するため引かれた玉川上水は、全行程約43kmがわずかに8か月の短期間工事で作られたといわれている。通水から360年後の年に、その道を歩きながら玉川上水の歴史に思いを馳せた。

かつて多摩川から引かれた水を満々とたたえた当時の玉川上水の写真や、明治初期に2年間だけ許可された船による物産運送の様子など、興味深い資料やガイドからの解説に、参加者は熱心に耳を傾けていた。

- 実施日 平成26年10月28日(火)
- 実施コース 玉川上水駅 - 清願院橋 - 小平監視所(東京都水道局) - 清流復活用水放流口・上水小橋 - 胎内掘り - 小川橋 - 小平中央公園 - 小平市ふれあい下水道館(地下3階展示室) - 船溜り跡 - 鎌倉橋 - 小川水衛所跡 - 行幸松の碑 - 都立小金井公園(約8.5km)
- ガイド 多摩交流センター会議室登録団体「歴史の道歩く会」
会長 矢崎 篤氏、その他会員4名
- ★参加者37名 / 申込47名



③登録団体の活動紹介の場の提供

当センターの会議室を利用する団体の日ごろの活動成果を発表する場として、市民交流室において書画や手工芸等の作品展示を実施した。また音楽や外歩き・旅の団体等は訪れた場所の地図や写真、日ごろの成果を展示するなど、ジャンルを問わず多くの団体に場を提供した。

- 展示希望団体 36 団体
- 展示団体の決定 多くの団体から展示希望があり、同一の展示期間に複数の団体の申し込みがあった。重複があった場合は、抽選により展示団体を決定。
- 展示方法 展示は2週間程度とし、各月2～4団体の展示を実施（展示品が少ない団体は他の団体と合同で展示）。
- 実施期間 平成26年8月～平成27年3月まで
(7月には他団体の参考となるようモデル展示を行った。)
- 展示の状況

7月

★きりえグループ「きり友」〈きりえ作品〉

モデル展示



前半

★墨劉会
〈水墨画作品〉

8月



後半

★特定非営利活動法人東京雑学大学
〈生涯学習講座の紹介〉

前半

★日本画の写生を楽しむ会
〈日本画作品〉

9月



後半

★多摩文学散歩の会
〈文学にかかるウォーキング活動紹介〉

10月
2団体
分割展示

前半

★薬膳研究会
〈薬膳料理の紹介〉



★ごみ・環境ビジョン21 役員会
〈ごみ・環境に関する活動紹介〉



後半

★町かど芸能の会
〈古典芸能と活動紹介〉



★スポーツ吹矢「いぶき会」
〈スポーツ吹矢の活動紹介〉



11月
2団体
分割展示

前半

★ブーケ・ド・シャンソン
★佛文化研究会シャンテ
〈音楽活動の紹介〉



後半

★多摩のくらしを考える
コンシューマーズ・ネットワーク
〈大気汚染観測と活動紹介〉



★福祉と生きがいを考える会
〈マイノートの作り方〉



12月

前半

★エンジョイ・ペインティング
〈トールペイント作品〉



後半

★篆刻の会
〈篆刻作品〉



1月	前半	★ ^{てんこく} 篆刻の会 〈篆刻作品〉	後半	★ウクレレサークル「パナパナ」 〈音楽活動の紹介〉
				
2月	前半	★みきの会 〈植物観察の活動紹介〉 ★コスモスの会 〈ハガキ絵作品〉	後半	★絵てがみサークルかえで 〈絵てがみ作品〉
	3月	前半	★楽しいパッチワークキルト 〈パッチワーク作品〉	後半

★平成27年1月までの展示写真

★各団体の詳細は114ページ「多摩交流センター会議室利用登録団体一覧」参照。

●意見・感想

展示の実施により「団体の活動が周知される」「目標ができると活動にメリハリが付き団員の士気・意欲が高まる」など、展示団体や当センター利用者から好評の意見をいただいた。

また、平成27年4月以降の展示継続について要望があったことから、引き続き展示を継続する予定である。